

空間上手

2013

66

SUMMER

木で暮らす生活を提案

光がコンセプトの新居

夢つながり

海島遊民くらぶ

匠の技

岐阜県庁前展示場(木楽暮U)に行ってきました

心の風景

お客様感謝祭が開催されました



光がコンセプトの新居

林さん ご夫妻（愛知県江南市）

今回は江南市で3人のお子さまと暮らす、林さんご夫婦のお宅に伺ってきました。採光性を高めるために、土地の取得から十二分に考えたという新居はどのような構成になっているのか？ さっそく伺っていきましょう。

写真／成田香澄

文／有田幸司

ありそつでなかなかない 素敵な外観

江南市の住宅街を歩いていると、ひときわ存在感をはなつ洋風のお家が目を引きます。

こちらが、今回ご紹介する林さんのお宅。外観はボリューム感あるバルコニーに優しい色合いを組み合わせたデザインで、お家の軒先には色鮮やかな春の草花が咲き誇り、つつい歩みを止めて、軒先を覗きこみたくなる素敵な雰囲気があります。

お庭の花々は、奥さまの朱美さんのお手製。「土いじりが好きなので、四季折々の木や植物を植えるようにしています」と、趣味であるガーデニングをのびのびと楽しんでいる様子。お庭造りのアイディアも朱美さんが担当したそうで、光を充分に入れながら、外との境目の機能も果たせるよう「考えて、考えて」造り

上げられたとのこと。その甲斐あって、お庭を含めた新居の一角は「色彩豊かでまとまり感のあるものにできたと思います」となかなかの満足感を得られています。

採光性の良さが光る家族のLDK

では、お家の中を伺ってみましょう。新居の1階は、玄関を中心に東側にLDK、西側には二間続きの和室というレイアウト。廊下を極力設けず、つなぎ目となる空間をホール状に用いることで奥行きのある、伸びやかで開放感を感じさせる室内が特徴です。

家に足を一歩踏み入ると、天然木の優しい香りとともに、朱美さんの焚いたアロマがほんのり。また、植物のディスプレイがさりげなく飾られるなど、訪問者をリラックスさせる演出がなされています。

続いてLDKに上がると、たつぷりとした空間の広さに驚かされます。「新居のLDKではゆったり過ごしたかった」というのはご夫婦共通のご意見。家族が長く過ごすお部屋は、最も力を入れた箇所なのだそう。特にLDKをご紹介します上で外せないのは、採光性の良さ。その理由は、部屋の南と東の二面に設えられた大型の窓から、自然光を存分に取り入れられることにあります。唯一、窓が少

なくなるキッチンには、トップライトを採用し、空間全体に光が行き渡る工夫が施されています。

「最初から光を最優先に考えていました」とおっしゃるのは典巨さん。遮敵物の多い住宅街でも東側からの光が入るよう、土地選びの段階から、東・南側に開けた角地を立地を選んでさうですから、新居における「光」の重要性が伺えます。この明るい室内にあわせたインテリア

十分なスペースがあることで、普段は家族で一緒に過ごす時間が多いそう。特に、窓際のデスクカウンターは子どもたちが宿題をしたり、朱美さんの家事スペースとして使ったりと、親子が共に過ごす時間を広げる仕組みとして働いているそうで、家族全員が集うLDKが見事に実現されています。

造りも意匠も本格派

次に、家の西側の和室を見てみましょう。室内は二間続き、南側には大きな板の間が備わります。また、天然木の八寸柱が見事な入り口、室内正面には床の間、そして特製の絞り丸太の床柱には違い棚と、堂々たる眺えに目を見張ります。天井には光天井と呼ばれる、照明が埋め込まれている凝った意匠が設けられ、最近の建築にはない豪奢で凛とした雰囲気がかもしだしています。「和室はまだ過ごす時間が少ないのですが、将来的にはお花をする場所として使っていきたいですね」とは朱美さん。特別な風格が感じられるお部屋なので、この先が楽しみです。

遊び心が感じられる2階スペース

最後に、2階の様子を少しだけみせていただきます。2階は、3人の子どもの達のお部屋と寝室、そして典巨さんの書斎が並ぶレイアウト。大空間に統一された1階に比べると、2階は部屋ごとに壁紙やカーテンの色を変えるなど、個性豊かな遊び心が感じられます。南側に設けられた大型のバルコニーには、ちよつとしたお庭ほどの空間が広がり、夏にはプールを楽しむなど、小さな子ども達にも嬉しいスペースとして活用されているそうです。

明るくてゆったりした空間が、見事に実現された林さんの新居でしたが、なにより住んでいるご家族が、ガーデニングやお花といった趣味を楽しみながら、のびのびと暮らしている様子がうかがえるのが印象的でした。ほのかに薫るアロマに肩の力を抜いて、建築話にいつまでも耳を傾けていたくなる、そんなくつろぎの新居への訪問でした。



PHOTO-ESSAY



青の楽園
写真・文／加藤光博

青という色は、実は自然界には存在しない色で、私たちが見ている自然の青は光の拡散によるもの、と聞いたことがある。

そんな青を普段たくさん目にするのも、このような青の景色に大きく感動するのも、実在しないからこそこの憧れによるもの、という深層心理の表れなのかもしれない。

この時期に満開になるという、ネモフィラという花を見に行くためだ。

都内からたった100kmそこそこの道のりではあったが、時期が時期だけに、自宅を朝8時半に出発したマイカーが目的地に着いたのは16時。

着いた頃には精根尽き果て、目的を果たす目前にして、自分の中で大きな後悔が生まれ始めていた。

しかし、この楽園のような景色を見た瞬間に、そんな思いは吹き飛んだ。

澄んだ青空、淡い青の花々。

まさに、たくさんの方が求めてやってくる、「青の楽園」のようだった。

ゴールデンウィークの最中、ひたち海浜公園へ出かけた。



あたたかい夢を胸にがんばる人たちは、みんなどこかでつながっている。そんなゆるやかでシアワセな“志縁”をご紹介します。

文／都筑里美・伊東かおり

有限会社オズ 海島遊民くらぶ

三重県鳥羽市鳥羽1丁目4番53号
連絡先: (0599) 28-0001
<http://oz-group.jp/>



旅の醍醐味はなんだろう。だれもが知るテーマパークや観光名所を訪れ、豪華料理に舌鼓をうつのも楽しい。けれど、旅先に当たり前にある暮らしの営みをそのままに体験できたなら、飾らないそこに暮らす人々の日常の幸せに触れることができたなら、なんと贅沢ではないか。

その贅沢を叶えてくれるのが「有限会社オズ 海島遊民くらぶ」だ。

近鉄鳥羽駅をおりて5分。オズの運営するインフォメーションセンター遊民を訪れると、三重なまりの方言が可愛らしい兵頭智穂さんが私たちを出迎えてくれた。

10年前、兵頭さんは旦那

さんの転勤で鳥羽市に移り住んだ。ママ友の繋がりでおズを知り、ツアーガイドとして働き始めたそう。

兵頭さんとともに鳥羽市営定期船に乗り、約20分。答志島の「ロンク食堂」にご案内いただいた。こここの女将は、オズのエコツアー企画の一つ「漁師の隠し魚」を一緒に開発した仲間だという。木曾三川と太平洋が流れ込む豊かな漁場である答志島は、魚の種類が豊富なことが特徴だ。しかし、市場に出回る程の量が獲れないや見た目が悪いなどの理由から、漁師の中だけで楽しんでいた魚がいくつもある。そのような魚を「漁師の隠し魚」と名付けた。今では高齢の漁師しか食



べなくなつた隠し魚を、ロンク食堂の女将さんが食堂で出したところ、地元で話題になり、地域の若い家族にも食べられるようになった。

そこで、オズは、より多くの料理店を巻き込み、多くの旅行者にも「漁師の隠し魚」を食べてもらえないかと考えた。珍しさと旬の時期から、普及する隠し魚にエイとヤドカリを選んだ。漁協に、ツアー時には各店に提供していただけるようにお願いすると共に、ロンク食堂に、島の鳥羽の料理店に、調理方法を指導してもらった。そして、オズの人気ツアーのひとつが完成したのだ。

オズの企画するエコツアーは、自然を荒らしすぎないよう独自の規制をもうけ、住民に配慮し、観光客が地域にお金が落とし、なる工夫をし、収益は島の子供たちの地域教育などへと還元している。

「環境にも人にも優しい、感幸ツアーを提供し続けたい」と誇らしげに語る兵頭さんの笑顔は輝いていた。

鳥羽磯辺漁業協同組合 答志支所 理事 中村 幸平 さん



兵頭さんに島のエコツアーの立役者として、鳥羽磯辺漁業協同組合 答志支所の理事中村幸平さんをご紹介いただいた。事務所ですーツを着る役員が多い中、中村さんは魚を退いた。

「産直場が人気の農業に比べて、漁業はお客さんとの距離が遠い。島の活性化をめざして、色んな団体や仲間たちと繋がり合いながら、発展していきたい。」

自然豊かな答志島も少しずつ過疎化がすすみ始めている。島の産業を守ることが、この島の未来につながっていく。

「島で年間に獲れる魚は100種類以上なんだ」中村さんはキラキラした目で市場を案内してくださった。ツアー客に市場を案内するのは慣れているようだ。

「小さな島なのに、とても立派な市場だろう」と中村さんは誇らしげに語る。協同組合全体での年間売上25億円のうち、15億円が答志島から水揚げされているそう。

コメント： 村田 元夫 さん

縁あって仕事を一緒にしたオズさん。「私たちが目指すのはエコツーリズム、ただのエコツアーとは違うんです。」と初対面の時に言われたことを忘れません。それは、エコを売りにした観光ビジネスではなく、先人が残してくれた自然や文化を活かし、地域の生業を持続していくためにあるのだと。



お客様感謝祭が開催されました

文・写真／武藤悠貴・都筑里美

春らしい青空に恵まれた4月20日、本店にてお客様感謝祭が開催され、たくさんのご家族で賑わっていました。

メイン会場Life住宅館前では焼きそば、牛めしの振る舞いや餅つき、大工による包丁研ぎが催されました。お食事エリアは常に満員。家族連れの笑顔があふれていました。館内1階のバイオリンとピアノの演奏会、2階・3階の体験コーナーやフリーマーケットも大好評でした。

この日の来場者は1100人以上。会場のあちこちで来場者のオーナー様と社員が「お久しぶりですね!」「お元気ですか?」とこやかに挨拶される姿も見られました。



一方、美濃加茂支店では、5月18日にお客様感謝祭が開催されました。会場では木工教室やフリーマーケットなどが開かれ、木細工の販売や餅つきなども行われました。また、子ども向けの射的や水風船すくいなどのブースもあり、家族全員で楽しめるのが特徴的。そして、この日一番の目玉はなんといっても『猪の丸焼き』です。大きな



機械の中で焼かれる肉の塊を見て、子どもたちが驚いていたのが印象的でした。

こちらも1100人以上の来場を記録したとのこと、それぞれ、オーナー様とのご縁をいっつも大切にしたいという想いと工夫の詰まった感謝祭となりました。



活たる日々

四季折々、私たちの日々を彩り、楽しませてくれる植物について、ちょっといい話、役立つ知識を紹介します。

文・写真／山崎智子

キッチンハーブという言葉に耳にするほど、ハーブは身近な存在になってきました。

もともとは野に自生する植物なので、ちょっと手を掛けるだけで丈夫に元気に育ってくれます。

中でもローズマリーは一年中緑の葉が摘めるので重宝しますよ。

すっきりとした森林を感じさせる香りは、主に肉や魚料理の臭み取と



して使われています。

全身の血行を促進し、消化器系や

神経系の機能を活性化するので「若返りのハーブ」としても有名です。

冷え性の方はローズマリーを入れたワインをお試し下さい。

食が細く便秘がちな方、髪の毛が気になりだした方にもローズマリーを使った料理はお勧めですよ。

強い抗酸化作用をもつ成分は水に溶けにくいので、葉そのものを料理に入れて丸ごと食べて下さいね。

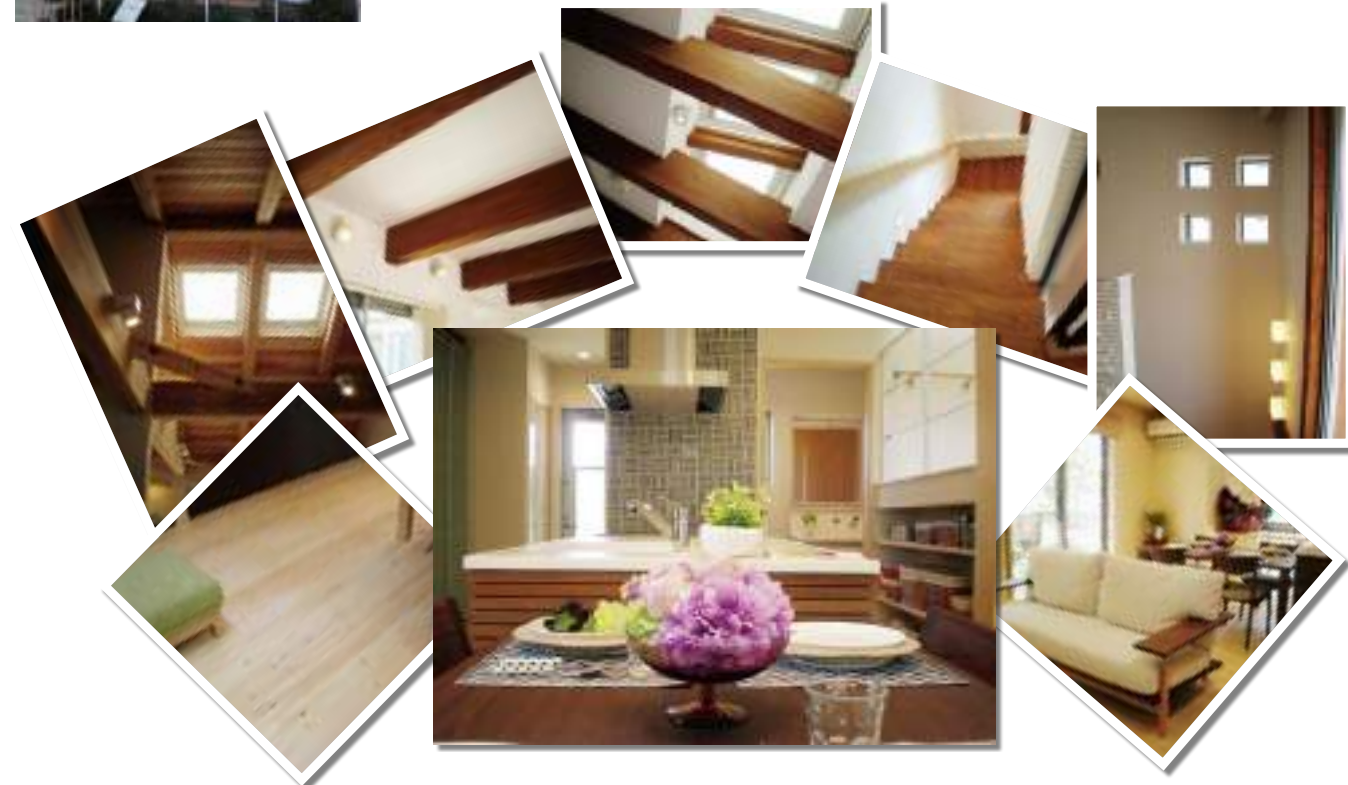
岐阜県庁前展示場(木楽暮U)に行ってきました

文・写真／大橋弘宣



4月末にオープンした岐阜県庁前展示場(岐阜県岐阜市藪田東1-3-20)を取材してきました。

外からみると、水平ラインをスタイリッシュに仕上げ、シンプルさがあって窓の形がアクセントとなっています。部屋の中は、化粧柱が使用されているため、外と同様スタイリッシュな印象で、扉や窓が大きくゆったりとしています。居室は壁・天井ともに珪藻土、床は1、2階ともにひのきの無垢材が使われ自然素材が用いられています。「子育て世代のご家族にぜひ一度ご来場頂ければ。」と店長の山田さん。記者の目には、キッチンが広く、家事などに忙しいお母さんでもいつも家族誰かの顔が見える、つながる空間のように感じました。



お便り大募集

インテリア、収納、リフォーム、ガーデニング等々、暮らしを便利で楽しくするアイデア、身の回りで起こった出来事などをエッセイ風にまとめたものなど、みなさんからの声をお待ちしています。本誌に関するご意見、ご感想、ご質問、提案等も大歓迎です。

住所、氏名(誌上匿名可、年齢、電話番号を明記の上、返信用ハガキ(株新和建設宛)をご利用下さい。

*掲載させて頂いた方には、図書券をお送りいたします。

おおごえこごえだより

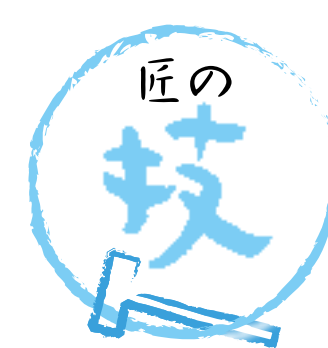
我が家は10年経ちました。メンテナンスも来ていただきありがとうございました。建ててから10年、15年と満足度を計るなら、訪問して聞くのも、空間上手の題材となるのでは?(東海市/J様)

▶ありがとうございます。ぜひ今後のコーナー作り参考にさせていただきたいと思います!

年末年始にかけて、リフォームをお願いしました。見積りの段階から綿密な打ち合わせを行っていただき、満足度120%の出来上がりとなりました。何より新和さんの人間味のある対応ぶりには感心しました。これからも宜しくお願いします。

(一宮市/I様)

▶喜んでいただけて私たちも感謝の気持ちでいっぱいです。こちらこそ、今後ともどうぞ宜しくお願いいたします。





新和建設ホームページの
「チャレンジ住まいのメンテナンス、DIY」のコーナーもご覧下さい。
<http://www.sinwanet.co.jp/hint/maintenance/>

キッチン等排水のお手入れ

キッチン等排水のお手入れについて説明します。

キッチンの排水には上から排水プレート、アミカゴ、防臭キャップ、トラップ本体となっていて、放っておくと、臭いや排水の詰まりがおこりますのでこまめにお手入れして下さい。

日頃の清掃

柔らかいスポンジに台所用中性洗剤をつけて汚れを拭き取ります。
メラミンスポンジ（激落ちくん）でもOKです。

ポイント

油污は冷えると固まります。排水管の詰まり防止の為に、清掃後は、熱湯で洗い流して下さい。

注意

市販で売っているぬめり取り材、塩素系の漂白剤の薬品はステンレスに付着して放置すると錆びてしまいますので使う場合は注意して下さい。



気を付けて清掃していても排水管が詰まってしまった経験が有りませんが排水管の詰まり防止の為にとても良い商品が有りますので紹介します。

商品名 ほっというて

特徴 B N 菌（微生物）がぬめり、油の悪臭物質を二酸化炭素や水などの無臭物質に分解するため、いつの間にかほっというても汚れや悪臭が無くなります。

タイプは2種類

洗剤タイプ



排水口に直接入れるタイプ



ネット販売の為、ほっというてで検索してみてください。

発行
新和建設

発行人
吉村良三

編集人 湯浅千久
伊東 かおり

THANKS

成田香澄、有田幸司、大橋弘宜、武藤悠真、山崎智子
都筑里美、加藤光博、木村善則、村田元夫

取材協力

林典巨さん・朱美さん
有限会社オズ海島遊民くらぶ、兵頭智穂さん・中村幸平さん

PRINTING

ブラザー印刷株式会社

編集後記

▶梅雨ですね。今年は傘を新調して楽しい気分で迎えたいと思っています。（大橋）

▶お客様感謝祭はとても賑やかなイベントでした。機会があれば来年も

取材にお伺いしたいと思います。

（武藤）

▶取材で鳥羽に伺いました。温かい人柄と魅力ある観光資源に出会い、ぜひ今度は夏休みにプライベートで遊びにきたいと思いました。

（伊東）



株式会社新和建設



本社・本店Life住宅館
愛知県北名古屋市野崎山神15番地
TEL 0568-23-0536 FAX 0568-22-3012



美濃加茂支店・夢の住宅館LEGEND
岐阜県美濃加茂市本郷町9-15-60
TEL 0574-25-6631 FAX 0574-25-6608



高山支店・LIVEすまいる館
岐阜県高山市松本町34-1
TEL 0577-32-8782 FAX 0577-32-8783



岐阜黒川支店
岐阜県加茂郡白川町黒川1646
TEL 0574-77-1314 FAX 0574-77-1314



黒川東展示場 黒川東中田ハウジングセンター内
愛知県名古屋市中区猿投町2
TEL 052-914-5730 FAX 052-914-5731



可児展示場 可児ハウジングセンター内
岐阜県可児市下恵土字針田4100
TEL 0574-61-1638 FAX 0574-61-0721



神宮東展示場 神宮東中田ハウジングセンター内
愛知県名古屋市中区三本松町25-1
TEL 052-883-5305 FAX 052-882-3581



多治見展示場 多治見ハウジングセンター内
岐阜県多治見市上山町1-4
TEL 0572-25-6777 FAX 0572-25-6858



鳴海展示場 鳴海ハウジングセンター内
愛知県名古屋市中区鳴海町伝治山3番地19
TEL 052-893-7575 FAX 052-891-1855



春日井展示場
愛知県春日井市西山町2丁目6番9
TEL 0568-86-8878 FAX 0568-86-8868



一宮展示場
愛知県一宮市丹陽町五日市場字本地38番地
TEL 0586-81-3375 FAX 0586-81-3376



各務原展示場 岐阜ハウジングギャラリー各務原内
愛知県各務原市蘇原青雲町3丁目41の1
TEL 058-371-7013 FAX 058-371-7014



蟹江展示場 CBCハウジング蟹江インター住いの公園内
愛知県海部郡蟹江町北新田1-60
TEL 0567-94-1555 FAX 0567-94-1556



岐阜県庁前展示場 岐阜ハウジングギャラリー内
岐阜県岐阜市藪田東1-3-20
TEL 058-272-1670 FAX 058-272-1671



木香の森 鹿田総合住宅展示場
北名古屋市鹿田合田240番
TEL 0568-68-6015 FAX 0568-25-0980



恵木の社 可児総合住宅展示場
岐阜県可児市下恵土2993-1
TEL 0574-63-0715 FAX 0574-63-7016

<http://www.sinwanet.co.jp/>